

あわみなと通信

暮らしを支える港湾と空港の話

平成29年度 年度初めの挨拶

春爛漫の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。新年度を向かえ、皆様も別れや新たな出会いがあり、一期一会を感じながら気持ちを新たにされる事ではないかと思えます。

さて、長く続いたデフレからの脱却を目指して推進されてきたアベノミクスの「三本の矢」の政策により、経済の好循環が次第に生まれつつありますが、その効果を隅々まで波及させ、生まれ初めた好循環を更に躍進していかなければなりません。

そのような中で、平成29年度の国土交通省の基本方針は、①「被災地の復旧・復興」、②「国民の安全・安心の確保」、③「生産性向上による成長力の強化」、④「地域の活性化と豊かな暮らしの実現」の4つの柱が位置づけられました。

我々港湾・空港分野におきましては、「国民の安全・安心の確保」の方針の中では、南海トラフ巨大地震等の災害に対してハード・ソフトを総動員した防災・減災対策の推進、また災害発生時の人流・物流を確保するための体制の強化と、輸送ルートの確保、また今後急増していく老朽化したインフラを戦略的に維持管理していく必要があります。「生産性向上による成長力の強化」の方針の中では、人口が減少し、働き手が不足していく中で、それを上回る生産性の強化と、新たな需要の掘り起こしが求められる時代になっており、物流モーダルコネクトの強化、地域の基幹産業を支える効率化・企業活動の活性化のための港湾施設整備の推進、また、「地域の活性化と豊かな暮らしの実現」にも関わることで、クルーズ誘致やクルーズ船受入環境整備の推進をしていく必要があります。

目まぐるしく変化していく時代ではございますが、地域のために微力ではございますが尽力して参りますので、本年度も変わらぬ皆様のご指導とお力添えをよろしくお願い申し上げます。

小松島港湾・空港整備事務所長 小田 幸伸

TOPIX

● 撫養港出張所が閉鎖されました

撫養港直轄海岸保全施設整備事業の最前線で地元調整や工事監督の拠点として平成22年に鳴門市撫養町立岩元地100-1 に設置された「撫養港出張所」については、平成28年度末を以て閉鎖されました。

今後は、小松島市にあります、小松島港湾・空港整備事務所内保全課にて、撫養港海岸保全施設整備事業完成までの現地での諸業務を引き継ぎます。撫養港から離れたところでの対応となってしまう、ご不便をおかけしますが、よろしくお願いいたします。

なお、撫養港出張所に変わる今後の連絡先は以下のとおりです。

名称：小松島港湾・空港整備事務所 保全課

住所：小松島市小松島町字新港9-14

電話：0885-32-3356（代表）0885-32-3358（直通）

—小松島港湾・空港整備事務所—



INDEX▶

- 年度初めの挨拶 1
- みなとインフォメーション 2-3
小松島港湾・空港整備事務所 平成29年度事業概要
- なるほどみなと講座 4
徳島小松島港の近年の概況